

# 女子サッカーへ準決勝、快勝光星



【八学光星―明桜(秋田)】試合終了間際、八学光星のMF根本①のシュートが決まり、3―0と突き放す。五戸町ひばり野公園陸上競技場

**東北高校選手権**  
東北高校選手権のサッカー競技(女子)は第1日の19日、五戸町のひばり野公園陸上競技場で1

回戦2試合を行った。県高校総合体育大会で初優勝した八学光星は、秋田県代表のノースアジア大明桜と対戦。後半2分に

第2日の20日は同競技場で準決勝2試合を実施。八学光星は、優勝5回を誇る宮城県代表の名門常盤木学園と対戦する。(工藤弘之、成田亮)

津島、根本が全得点

○：前半は守り中心でいまひとつ攻撃のリズムに乗れなかった八学光星。重苦しい雰囲気の一フタイムに力石監督は「守りきれている」と逆に声を掛けた。「東北大会は簡単に得点できない。1点取れば勝ち。焦らず、確実に取りにいこう」と選手を励ました。

後半2分、MF津島がMF根本のアシストでシュートを決めると、同14分には根本が津島のアシストで相手GKの頭を越える、技ありのロングシュートで2点目。試合終了間際にも根本のゴールで突き放した。

「めちゃくちゃミット感があるシュートで、気持ち良かった」と津島。根本は「後ろから『打て』の声が聞こえ、思いきって狙っていった。入って、びっくり」と驚いていた。

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです